

2学期通知表数値から推測できる内申点評価

2学期最大のヤマ場「期末テスト」が始まりました。特に受験生にとってはこのテスト結果が通知表数値に大きく関わります。1学期と2学期の通知表を元に各教科の内申点数（5段階評価）が決まります。

1学期「4」→2学期「4」の生徒は90%内申点が「4」です。

1学期「3」→2学期「4」の生徒は70%「4」

1学期「4」→2学期「3」の生徒は50%「4」

5教科の内申点は最終的に1月冬休み明けの課題テストで決まります。

したがって、1学期の通知表数値を思い出し、「**3**」の教科を優先的に勉強してください。特に実技教科においては数値を「1アップ」するだけで内申点は「+7.5ポイント」あります。本番入試では2倍の「+15点」に相当します。いま一度、1学期の通知表を見て何を上げるべきか検討しましょう〔野垣勝彦〕

11月・12月のおもなスケジュール		
22	土	中3入試突破ゼミ・期末直前ゼミ 高2保護者会
23	日	第2回三田祥雲館模試 自習室開室（12:00～18:00）
24	月	振替休日【授業あり】
29	土	中3入試突破ゼミ
30	日	中3公開テスト【会場受験】
12/1 ～4		教育相談会【授業なし】
5	金	冬期講習新クラス発表
6	土	中3入試突破ゼミ 新高1進学保護者会
7	日	特進館休日（13:00～17:00）
13	土	中3入試突破ゼミ
19	金	冬期講習スタート
30	火	年末年始絶対合格感動合宿① やる気UPコンサート
31	水	【休 室】

※年末年始の休室は、12/31～1/2の予定です。

まちがえたっていいじゃない

「間違っていると思うけど」「わからんからカンで書いたけど」という枕詞をよく聞きます。不正解になったときのための保険なのか、本当にそうなのかはわかりませんが。このような姿勢は自身の成長の可能性を著しく低くしていると思います。自分の失敗を正面から受け止めずにいれば、傷つくことはなく、とても快適に過ごせるでしょう。しかし、そのように安全地帯にいただけでは本当の意味での力は身につきません。人間の筋肉は傷つくことでより太く、強くなると言われています。それは周囲の環境に適應するために「このままではだめだ」と認識するからではないでしょうか。傷つくことで初めて自身の置かれた状況が理解できます。間違えないと気づけない。〔金子祐太〕

君の第3の居場所
フリースクール
学び舎S
を開校します
詳しくはこちら



10月の“自習王”決定!

★中学生の部

中3 藤原 芽生 115.4時間

★高校生の部

高3 下村 奈都 129.0時間

余裕

昔、生徒会の顧問だった中学校の恩師に「何事も余裕を持ちなさい」と言われたことがあります。焦りは判断を曇らせ、力を出せなくなるからだそうです。これは定期テストでも同じことがいえると思います。実際、勉強ができる子ほど、提出物にとりかかるのが早いものです。何事も早め早めに取り組んで余裕を持つことが大事ということですね。〔伊藤大悟〕

12月分
学費の振替

11月27日
(木)
12月19日(金)より冬期講習会を実施いたします。順次ご案内を配布しておりますので、ご確認ください。なお講習費につきましては記載の当学院指定口座までお振込みをいただけますようお願いいたします。

背中では語ること...

先日、ある前総理がテレビで「忙しくて1日3時間しか寝ていない」と、“がんばっていますアピール”を愚痴っぽく語っているニュースに、この上ない不快感を覚えました。自分の努力を他人に恩着せがましく語る行為は、本当にみっともないことだと思います。本来、そのような話は自分でなく他人が自然に感じ取り、他人の口から発せられるもの。だから、「あの人はたいへん苦勞されている」とかが自然で、「オレは苦勞しているんだ」みたいなことを自分で吹聴する人間を、私は絶対に信用しません。

教師が授業で生徒に向かって、「先生はお前たちのためにがんばっているのだゾ」などと発言するのも問題外。教師はそれでご飯をいただいているのだから、そんなことは当然のことで、誰も尊敬も同情もしないと思います。自ら求めなければ評価を得られない人ほど、愚かでみじめなものはありません。

少子化が進み、塾業界の将来は“三重苦”にさいなまれています。少子化による入試の易化。不登校生の急増。教育界へのAI台頭。そんな逆境の中で、私たちは教育者として、たと困難を前にしても常に笑顔で立ち向かい、子どもたちに常に背中では語りながら、前向きな姿を見せ続けていきたいと考えています。〔北村昌弘〕



代表北村の独り言...

関西弁と思いますが、「ちゃらんぽらん」という言葉がありますよね。「いい加減で無責任なこと」を表す俗語です。他にも「ほんくら」や「スカタン」等、人をけなす関西弁ってたくさんあって、とってもおもしろくて興味深いです…。

編集
後記

毎年のことですが、気が付けば12月が目前に迫り、一年が終わろうとしています。今年は12月から一気に寒さがやってくるという予報も出ていますが、この時期いつも迷うのは自家用車のタイヤを冬タイヤに替えるかどうか…。車をお持ちの皆さん、どうされていますか？？少し前までは毎年替えていたのですが、積雪の頻度も量も少なくなり、昨年は雪が降ったら車に乗らないと決めて替えずに過ごしました。それでも特に不便だと感じた記憶がないので、タイヤ交換の時間と費用も考慮した結果、いまのところ今年も替えない方向に傾いています。